

平成二十四年十月吉日

家庭に関する学科等卒業生の採用に関する要望書

全国高等学校長協会家庭部会

理事長 仲野 仁

同 進路調査研究委員会

委員長 山形 昭夫

近年、高等学校は生徒の個性、興味・関心に応じた教育を行うことが求められており、家庭に関する学科等においては、体験的な学習を重視し、実践力に富み、創造性豊かな人材の育成に努めております。その中、就職を希望する生徒は、衣食住・保育や福祉といった人々の生活に密接に関係した学びから得た知識や体験を活用して社会に貢献したいという熱意にあふれております。そのような人間生活の基本を真摯に学ぶ若者に対して社会参加の機会を確保することは、私たちの切実な願いであります。

つきましては、現在、厳しい経済状況下ではありますが、就職希望者が自らの進路実現を図ることができるよう貴団体におかれましては、各都道府県下の企業との連携により、求人や採用に際して、左記の事項に特段のご高配を賜りますよう、全国高等学校長協会家庭部会の総意によってお願い申し上げます。

記

- 一 家庭に関する学科等の卒業生が希望を持って社会に踏み出せるよう、企業等における採用の確保・拡大をお願いしたい。
- 二 家庭に関する学科等の卒業生は女子の占める割合が多いことに鑑み、女子の採用について一層の配慮をお願いしたい。
- 三 家庭に関する学科等の卒業生に対して、採用における受験の機会の増大をお願いしたい。

以上の三項目につきまして重点事項として要望いたします。